

2019 年度事業計画書

〔 2019 年 4 月 1 日から
2020 年 3 月 31 日まで 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する。」ことを目的として、1984 年(昭和 59 年)4 月 12 日に設立された。1985 年(昭和 60 年)に第 1 回京都賞授賞式、第 1 回研究助成金贈呈式を開催し、事業を開始した。本年度は、財団設立 35 周年事業として、研究助成事業では稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップの運用を開始し、社会啓発事業では第 1 回こども科学博を開催する。

2019 年度事業計画（概要）

I. 顕彰事業

1. 第 34 回(2018)京都賞関連行事「Kyoto Prize at Oxford」(英国オックスフォード)の支援
第 34 回(2018)京都賞受賞者による京都賞受賞記念行事の開催
2. 第 35 回(2019)京都賞の審査および受賞者の決定
対象分野 先端技術部門 : 材料科学
 基礎科学部門 : 地球科学・宇宙科学
 思想・芸術部門 : 映画・演劇
第 35 回(2019)京都賞授賞式および関連行事の開催
第 35 回(2019)京都賞関連行事「京都賞シンポジウム」(米国ワシントン)の支援
3. 第 36 回(2020)京都賞候補者推薦の受付および審査選考の開始
4. 第 37 回(2021)京都賞授賞対象分野および審査機関委員の決定

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成
 - ・ 2019 年度 稲盛研究助成金贈呈式の開催
 - ・ 2020 年度 稲盛研究助成の申請受付と助成対象案件の審査および決定
 - ・ 2021 年度 稲盛研究助成選考委員の決定
2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ
 - ・ 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップの運用開始
 - ・ 2020 年度 InaRIS フェローシップの申請受付と InaRIS フェローの審査および決定
 - ・ 2020 年度 InaRIS 運営委員の決定
 - ・ 2021 年度 InaRIS フェロー選考委員の決定

III. 社会啓発事業

1. 第 1 回「こども科学博」の開催
2. 米国京都賞シンポジウム共催大学への寄附
3. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援
4. 京都大学「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」への寄附
5. 京都大学「京都こころ会議(Kokoro Initiative)」への寄附
6. ロームシアター京都「舞台芸術としての伝統芸能シリーズ 文楽公演」への寄附

I. 顕彰事業

1. 第 34 回(2018)京都賞に関する事項

- (1) 英国オックスフォード大学主催「Kyoto Prize at Oxford」の開催支援
2019 年 5 月、第 34 回(2018)京都賞受賞者を迎えて開催される英国オックスフォード大学主催の第 3 回「Kyoto Prize at Oxford」を支援すると共に、英国から、欧州及び世界に向けて京都賞を発信する。
- (2) ジョーン・ジョナス京都賞受賞記念行事の開催
第 34 回(2018)京都賞受賞者ジョーン・ジョナス氏による京都賞受賞記念行事として、2019 年 12 月、ロームシアター京都にてパフォーマンス公演「Reanimation」を開催する。また、2019 年 12 月から 2020 年 2 月にかけて、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA にて展覧会を開催する。

2. 第 35 回(2019)京都賞に関する事項

- (1) 京都賞審査機関による審査
第 35 回(2019)京都賞審査機関の各部門専門委員会及び審査委員会において、国内外の推薦者より推薦された候補者を審査選考し、2019 年 4 月開催の京都賞委員会に提示する。また、京都賞委員会は、提示された候補者を審査の上、最終候補者を選定し、同年 6 月開催の定時理事会に上申する。
- (2) 受賞者の決定と発表
京都賞委員会から上申された最終候補者を、2019 年 6 月開催の定時理事会にて承認、決定する。また、受賞者が決定次第、本人へ通知すると共に、受賞者名を公表する。
- (3) 授賞式及び関連行事の開催
第 35 回(2019)京都賞授賞式を、2019 年 11 月 10 日京都市内にて行う。また、授賞式の前後を「京都賞ウイーク」として、関連行事を実施する。
さらに、京都でのイベント終了後、同年 11 月鹿児島市内にて、当該年度受賞者を迎えて開催される「京都賞受賞者 鹿児島講演会」を支援する。
- (4) 米国サンディエゴにおける「京都賞シンポジウム」開催支援
第 35 回(2019)京都賞受賞者を迎え、京都賞シンポジウム組織及び 4 大学（サンディエゴ州立大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、サンディエゴ大学、ポイント・ロマ・ナザレン大学）の主催により、2020 年春、米国サンディエゴにて開催される「第 19 回(2020)京都賞シンポジウム」を支援する。

3. 第36回(2020)京都賞に関する事項

- (1) 推薦依頼の発送と受付
推薦依頼先の名簿を作成し、推薦依頼を行うと共に、推薦の受付を行う。
- (2) 京都賞審査機関委員の委嘱
第36回(2020)京都賞審査機関委員に対し、2019年11月開催の第36回(2020)京都賞審査機関合同会議にて委嘱を行う。
- (3) 京都賞審査機関による審査
第36回(2020)京都賞審査機関において、候補者の審査選考を行う。
- (4) 授賞式及び関連行事の企画
第36回(2020)京都賞授賞式及び関連行事の企画を行う。

4. 第37回(2021)京都賞に関する事項

- (1) 授賞対象分野の決定
第37回(2021)京都賞授賞対象分野を、2020年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。
- (2) 京都賞審査機関委員の決定
第37回(2021)京都賞審査機関委員を、2020年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成

- (1) 2019年度 稲盛研究助成に関する事項
 - ① 2019年度稲盛研究助成金贈呈式の開催
2019年度稲盛研究助成金贈呈式を2019年4月に京都市内にて実施し、助成対象者に対して助成金を贈呈する。
また、これまでの助成対象者を会員母体とする「盛和スカラーズソサエティ」の第23回総会を同日に行い、講演会及び懇親会を実施する。

(2) 2020 年度 稲盛研究助成に関する事項

① 募集要項の発送と受付

募集要項を発送すると共に、ウェブにて申請の受付を行う。

② 稲盛研究助成選考委員会による選考

2019 年 12 月開催の稲盛研究助成選考委員会において、助成対象者の選考を行う。

③ 稲盛研究助成対象者の決定と発表

稲盛研究助成選考委員会にて選考した助成対象者を、2020 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定する。なお、助成対象者は 50 名、研究助成金は 1 名あたり 100 万円（「伯楽」の場合、2 年間で 200 万円）とし、助成対象者が決定次第、本人へ通知すると共に、氏名を発表する。

(3) 2021 年度 稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成選考委員の決定

2021 年度稲盛研究助成選考委員を、2020 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定する。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

(1) 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップの運用開始

- ① 2019 年 4 月 1 日、知的好奇心に導かれた真理の探求や基礎科学の社会的意義が尊重される文化の醸成を目指し、基礎科学の研究者を長期的に支援するプログラムである「稲盛科学研究機構(Inamori Research Institute for Science: 略称 InaRIS)フェローシップ」の運用を開始する。

(2) 2020 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 募集要項の発送と受付

募集要項を発送すると共に、ウェブにて申請の受付を行う。

② InaRIS フェロー選考委員会による選考

2019 年 12 月および 2020 年 1 月開催の InaRIS フェロー選考委員会において、助成対象者の選考を行う。

③ InaRIS フェローの決定と発表

InaRIS フェロー選考委員会にて選考した助成対象者を、2020年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。なお、2020年度の助成対象者は全2名、各人につき1年あたり1000万円を10年間（合計1億円）助成するものとし、助成対象者が決定次第、本人へ通知すると共に、氏名を発表する。

④ InaRIS 運営委員の決定と発表

2020年度 InaRIS 運営委員を、2020年3月開催の定時理事会にて承認、決定し、発表する。

(3) 2021年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① InaRIS フェロー選考委員の決定

2021年度 InaRIS フェロー選考委員を、2020年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。

Ⅲ. 社会啓発事業

1. 第1回「こども科学博」の開催

2019年8月、科学が身近で面白いことを実証し、こどもたちの自信や好奇心、学ぶ意欲を引き出すことを目的として、こどもたちの自ら学びたいと思う探究心を応援する新しいエンターテインメント型教育イベント、第1回「こども科学博」を開催する。

2. 米国京都賞シンポジウム共催大学への寄附

2019年に再調印予定の「京都賞シンポジウム共催大学との特別寄附金合意書」に基づき、各大学における学術振興を目的として、4大学(サンディエゴ州立大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、サンディエゴ大学、ポイント・ロマ・ナザレン大学)へ第1回20万ドル(1校あたり5万ドル)の寄附を実施する。(2019年から2022年までの4年間で4大学総額80万ドルを寄附予定)

3. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金(総額1,100万ドル)で設立された、ケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」が2019年秋に開催

する、第12回稲盛倫理賞授賞式並びに関連行事への開催協力をはじめ、同センターの活動を支援する。

4. 京都大学「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」への寄附

2017年7月に再調印した寄附覚書に基づき、京都賞に対する社会の期待と関心を高めるとともに、学術・芸術の振興に寄与し、併せて京都大学と当財団の協力関係を強化することを目的に、「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の開催支援として、第3回2,000万円の寄附を実施する。(2017年から2020年までの4年間で総額8,000万円を寄附予定)

5. 京都大学「京都こころ会議 (Kokoro Initiative)」への寄附

京都大学が、「こころの未来研究センター」を中心に立ち上げた「京都こころ会議 (Kokoro Initiative)」の主旨に賛同し、その活動支援として、第5回1,500万円の寄附を実施する。(2015年から2020年までの6年間で総額9,000万円を寄附予定)

6. ロームシアター京都「舞台芸術としての伝統芸能シリーズ 文楽公演」への寄附

ロームシアター京都が、伝統芸能の継承と創造を目指すため開催する「舞台芸術としての伝統芸能シリーズ」の主旨に賛同し、第三弾となる文楽公演の特別協賛として、300万円の寄附を実施する。

IV. その他

1. 広報活動

(1) ブランド力の向上及び戦略的広報活動の推進

稲盛財団設立35周年として、設立の理念に根差した広報活動の継続、既存事業と新規事業を含む社会への積極的な情報発信を推し進める。具体的には、既存ウェブサイトの改修、稲盛財団及び京都賞印刷物の多言語展開、新規事業に伴うウェブサイト・印刷物等広報ツールの新規作成など、財団活動の周知を図りブランド力の向上を目指す。

(2) 記者発表の実施

関係記者クラブ及び記者に対し、プレス資料を随時配布する。また2019年6月に

京都賞受賞者発表記者会見、2019年11月に京都賞受賞者共同記者会見を実施する。

(3) 刊行物の発刊

下記の刊行物を発刊し、関係先へ配布する。

- ・「稲盛財団 2018 - 第 34 回京都賞と助成金」(稲盛財団記録本)
- ・「稲盛財団ニュース」(年 3 回発行)
- ・「The Inamori Foundation Newsletter」(英語版、年 2 回発行)
- ・「盛和スカラーズソサエティ会報」(年 1 回発行)

(4) 電子媒体による情報発信

電子媒体を通じて、京都賞や当財団の活動に関する情報を発信する。

- ・「稲盛財団ホームページ」
- ・「京都賞紹介サイト」
- ・「ソーシャルメディア (Facebook、Twitter、YouTube)」

(5) 各施設での展示

下記の施設で京都賞を紹介する展示を行う。

- ・京都大学稲盛財団記念館 京都賞ライブラリー (常時)
- ・九州大学稲盛財団記念館 京都賞ライブラリー (常時)
- ・京都市青少年科学センター (常時)
- ・京セラ株式会社 稲盛ライブラリー (常時)
- ・京都市京セラ美術館 (常時)
- ・英国オックスフォード大学 (「Kyoto Prize at Oxford」開催時)